



2015年度 聖教学習会

岡崎教区

生活の中心に南無阿弥陀仏を ～南無阿弥陀仏と生活の関わりってなんだろう？～

「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」のお言葉は親鸞聖人において、天地がひっくりかえるほどの驚きであり、わが身が救われていくことを実感し、この道を生きていくと選ばれたのだらうと思われます。

しかしながら法難により流罪となり、法然上人や吉水の仲間たちと離れ離れになり、誰にも聞くことができない中で、ひとり「ただ念仏」の教えを何度も何度も繰り返して聞法思惟していただけたのではないかと想像いたします。この生活姿勢こそが私たち真宗門徒が大切にしてきた“聞く”という生き方の原点ではないでしょうか。

この度の聖教学習会では、「聞思」ということを大切にしながら、宗祖の歩みと自分自身の歩みの問い返しを行い、自己を問う（日々の暮らしの中に生まれる「迷い」や「不安」や「不満」。それらを抱える私たちの中心となっているものはなんでしょうか）という視点を持ち、今を生きる私たちが「南無阿弥陀仏」とお念仏申すことが自分自身の生活にどう関わってくるのかを、親鸞聖人のご生涯とお聖教をとおして学んでいきたいと思ひます。

- 期 日 2016年6月13日（月）13:00～19:00 予定
- 講 師 安富 信哉 氏（真宗大谷派教学研究所長）

1944年新潟県生まれ。早稲田大学第一文学部英文学専修卒業後、大谷大学大学院博士課程真宗学専攻単位取得退学。現在、大谷大学名誉教授。博士(文学)。新潟県光濟寺住職。東方佛教徒教会(EBS)事務局長。真宗大谷派董理院董理。真宗大谷派講師。

- 研修形態 講義・攻究・座談
- 会 場 岡崎教区会館
- 持 ち 物 真宗聖典、勤行本、間衣、輪袈裟、略念珠、筆記用具
- 参加対象 教区内僧侶、門徒
- 参加費 500円（食事代含む）※当日、受付にて納入ください。

※講義中は、間衣・輪袈裟を着用して受講ください。

✂ キリトリ ✂

氏名 _____ (〒 _____) _____
住所 _____

TEL _____ (_____) _____ 所属寺 _____ 組 _____ 寺 _____